

CMI 株式会社

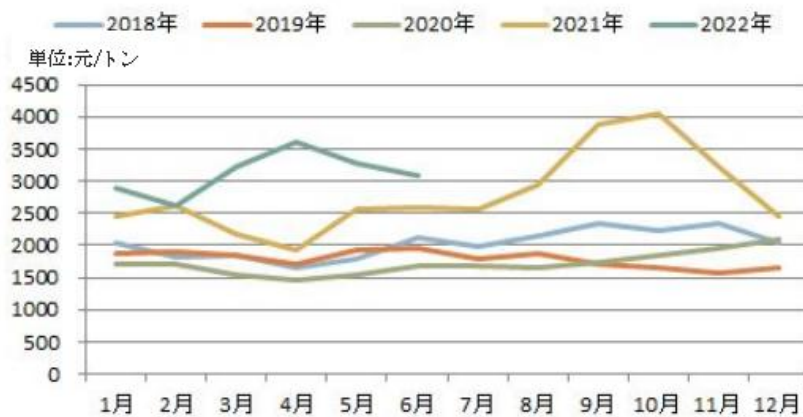
横浜市鶴見区東寺尾中台20-3,301

TEL : 045-717-8575 FAX: 045-717-8683

中国 2022 年上半期のコークス市場

今年上半期の中国コークス市場は、需要増加と原料炭価格の上昇を受けて高値で推移してきたが、コークス企業の利益は原料価格高騰のため低いレベルに留まっている。

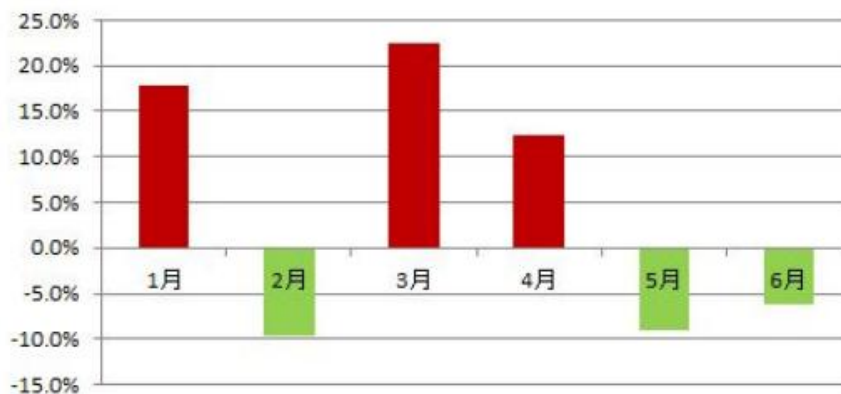
山西省呂梁地域で生産する準一級コークスの平均価格は 3,142 元/トン（6.35 万円/トン、1 元=20.22 円で換算）で、2021 年より 13.4%値上がり、また例年の平均値を上回った。しかし、最高値は昨年 9 月中旬の過去最高価格 4,060 元/トン（8.21 万円/トン）よりも 7.4%低い 3,760 元/トン（7.60 万円/トン）だった。図 1 に呂梁地域の準一級コークスの 2018～2022 年の価格推移を示す。



出典：中国煤炭資源網

図 1 山西省呂梁地域準一級コークスの価格推移（2018～2022 年）

今年上半期の月別コークス価格の変動については図 2 に示したように激し過ぎるものと言えるだろう。1 月は 17.8%値上がり、2 月は 9.7%の値下がり、3 月には再び 22.5%値上がりしたが、5 月には 9.1%値下がりした。



出典：中国煤炭資源網

図 2 呂梁地域準一級コークス価格の伸び率（2022 年上半期）

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20-3,301

TEL : 045-717-8575 FAX: 045-717-8683

価格に影響する主要な要素は、原料炭の価格上昇と鉄鋼生産量の回復を受けた1月には、コークスの市場価格が3回も値上がりした。

2月に入ると春節休みや冬季オリンピックの影響で需要・供給ともに抑制された。鉄鋼企業やコークス企業の多くはコークス在庫を抱え、コークス価格は原料炭価格の低下も重なり2回にわたって値下がりした。

2月末から4月までの期間は、下流の鉄鋼企業の生産再開による需要増と原料炭価格高騰がコークス価格を押し上げた。

5月は生産再開や稼働率を上げたコークス企業が相次いだ。コークス市場では下流の鉄鋼企業がコークスの購入ペースを減速するための値下げを繰り返した。

6月初め、コークス企業は損失の拡大に伴って自主的な減産を実施したことに加え、原料炭価格の上昇幅がコークスよりもはるかに大きくなった。そのため、コークス企業の収益悪化が続き、2回値上げされた。その後、利益が下がった鉄鋼企業の一部は減産計画を立てる際に原料コストを抑えるため、コークス価格を引き下げた。

下半期は「粗鋼生産量の削減」という国の方針を背景にして、コークス需要が抑制されると予想される。コークス新規生産能力の稼働開始に伴い、コークス企業の利益は依然として第3四半期も低い水準を維持する見通しだ。

情報源：中国煤炭資源網より。